

かわさき区の宝物シート

宝物No.	かわさきかこうすいもん
5-5	川崎河港水門

川崎河港水門



エリア	中央地区	シーズン	通年
	旭港	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input checked="" type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input checked="" type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区港町66番地先
問い合わせ	川崎市建設緑政局道路河川整備部 河川課 川崎区役所地域振興課
TEL	044-200-2903 (川崎市河川課) 044-201-3136 (川崎区役所地域振興課)
FAX	044-201-3209 (川崎区役所地域振興課)
E-mail	61tisin@city.kawasaki.jp (川崎区役所地域振興課)
URL	http://www.city.kawasaki.jp/61/61kusei/home/papercraft/takaramonopapercraft.htm (川崎区役所HP/かわさきの宝物・ペーパークラフト)
交通	京急大師線港町駅または鈴木町駅より徒歩約5分



基礎情報

- 川崎区を縦貫する大運河計画の一環として昭和3年(1928)に完成。高さ20.3m、水門幅10m。社会情勢の変化から計画は中止されたが水門だけが残った。
- 白く大きな水門の頭部にあるオブジェは、往時の川崎の名産物であった梨やブドウ、桃などがモチーフにされている。正岡子規が詠んだ『多摩川を 汽車で渡るや 梨の花』という俳句からもわかるように、大師河原や対岸の六郷など多摩川下流の沿岸一帯にはかつて梨や桃の果樹栽培が盛んであった。
- 水門のデザインや規模が高い評価を受け、平成10年(1998)国の登録有形文化財(建造物)に登録された。

由来・エピソード

- 第一次大戦による好景気で、川崎市では足りなくなった工場用地を拡大するための水路網整備が急務となり、都市計画運河の開削構想が持ち上がった。川崎河港水門はこの計画の一環として、当時の多摩川改修事務所長であった内務技師・金森誠之(しげゆき)氏の設計により大正15年(1926)11月に着工、昭和3年(1928)3月に完成した。竣工式には大女優・田中絹代や川崎大師出身の川崎弘子ら、松竹蒲田撮影所の看板女優が招待されテープカットが行われた。川崎弘子を見出し芸名の名付け親になったのが金森氏本人という。
- 運河計画はやがて川崎区を対角線状に横切る幅33~40mの大運河計画に進展、昭和10年(1935)には内務省の認可も受け、メディアにも「水の都川崎」「港市川崎」などと取り上げられた。ところが予定地には既に住宅や工場が建てられ、また戦局悪化の影響などもあり、昭和18年(1943)、計画は廃止されるに至った。
- 水門は2本のタワーとタワーをつなぐ梁、ゲートによって構成されている。梁部分には元々エジプト様式の船のレリーフがあったが現在は残っていない。
- 現在でも、主に千葉方面からの砂利の陸揚げ施設として、1日数隻の砂利運搬船の通航に利用されている。

補足・その他

- 平成18年(2006)4月、水門の構造やその歴史的意義を紹介した説明板が設置された。また、川崎区地域振興課では川崎河港水門のペーパークラフトを作成。
- 平成18年(2006)11月『ヘリテージング100選』(毎日新聞社主催)に認定された。ヘリテージングとは、明治~昭和(戦前)の約70年間につくられた日本の「近代遺産(ヘリテージ)」を観光の対象として楽しむ新しいレジャーのこと。日本全国の近代遺産の中から代表的な100のヘリテージング名所と地域が選ばれた。神奈川県内の4施設(他に富士屋ホテル、横浜・関内地区、横浜・山手地区)のうち、「多摩川下流の河川施設(川崎河港水門、六郷水門など)」として川崎市内で唯一認定された。

関連シート

- (5-2) 長十郎梨のふるさと
- (14-1) 多摩川(河口干潟・桜並木)
- (28-2) 川崎港・運河